あまにゅう

青森県青年海外協力協会（AOCA）広報誌
平成23年10月号（2011.10）
発行:　青森県青年海外協力協会
編集担当: 大賀重樹（5－1ホンジュラス）

帰国隊員報告会を開催

会長　村木裕俊（H19－2 シリア　果樹栽培）

8 月 17 日と 10 月 22 日に帰国隊員報告会、帰国歓迎会を開催しました。どちらの会も青年海外協力隊に参加した OB や地元の高校生、地球色の日焼け青森応援団の方々のほか合わせて 20 名近くの人が参加し、帰国隊員がそれぞれ 20～30 分というわずかな時間ですが帰国報告をしました。

どの報告も活動や任国のへの熱い思いが込められていて素晴らしく、私自身の帰国直後のことを思い出しました。報告会後半には AOCA、応援団の方からも帰国隊員へ向けた団体、活動紹介の時間を設けたので、一般の参加者の方にも、少しは活動内容など理解いただけたのでは、と思っています。

青森県からはすでに４００名以上の若者が「青年海外協力隊員」として、海外援助に参加していますが、まだまだ知名度は低いのが現状です。１１月には、青森市のアスパムにおいて、活動写真展も開催することになりました。ぜひ足を運んでいただき、青森県の若者の熱い思いにふれていただければと考えております。写真展の詳細については、新聞等の報道やＡＯＣＡのホームページをご覧下さい。また、青森ＪＩＣＡデスクへもお問い合わせ下さい。よろしくお願いいたします。
（TEL　０１７－７３５－２２４９）

青年海外協力協会広報誌「あまにゅう」は、主に青森県出身の青年海外協力隊の参加経験者からなる団体の広報誌です。この広報誌を発行することを通して、県内在住のＯＢ・ＯＧの情報交換をするほか、私たちの活動に興味のある方々に私たちの活動についての理解を求めるとともに、国際協力・国際理解の輪を広げることを目的として発行します。

「あまにゅう」の由来

「あまにゅう」は八甲田をはじめとした、高山にあり、きれいな白い花をさかせる植物です。普段は人知れず咲いているのですが、一旦山に登ると大きくてはっきりと確認できる植物です。青森に住んで、世界のことを考えながら決して途上国への情熱を忘れない、そんな協力隊経験者と通じるところがあるようで、機関誌を作ったときにその名前を採用されました。
なお、名付け親は川村宏義氏「あまにゅう」の初代編集者です。

協力隊ＯＢ・ＯＧが、自分が体験した驚きや感動を写真や実物を提示しながら、熱心に話しました。会場の方々も最後まで聞いて下さり、質問等も活発に出されました。

これからの活動も目白押しです。ご協力よろしくお願いします

■　国際協力写真展「私たちが暮らした国々」＆帰国隊員報告会

■協力隊ナビを毎月実施
11 月 4 日･12 月 2 日（16:00～18:00）【詳しくは 4 面】
（青森市水産ビル 5 階ラウンジ）
問い合わせ先：JICA 青森デスク　TEL：017-735-2249
Mail: jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

■「ウインターキャンプ　in　青森」　for　ふくしま kids
1 月 4～7 日　福島県の子どもたち 35 名を招待してのスキーキャンプを実施します。実施に向けて、寄付を集めたり、ボランティアを募ったりしています。

以上の活動についての詳細は、AOCAのホームページにも掲載していますので、どうかご理解とご支援をよろしくお願い致します。

ウインターキャンプは、参加費無料で実施します。たくさんの方々のご協力やご支援が必要です。どうかよろしくお願い致します。詳細については、4 面をご覧下さい。

八甲田港フェスタ２０１１

7月 17 日、18 日の 2 日間、八甲田丸ウォーターフロントで八甲田丸港フェスタが開催されました。われわれのブースでは写真を見ながらクイズを解く国際協力クイズコーナーや東日本大震災で被災した日本へ世界から届いたメッセージコーナー、民芸品販売、ヨーヨー釣りなどを行いました。

今年は全国的に梅雨明けが早く、イベントの両日は天候に恵まれ 500 名を超える方々がブースを訪れ、多くの方に国際協力や世界の現状について知っていただけました。

ブースには JICA ボランティアに興味がある方も多く訪れ、青年海外協力隊の応募について、個別相談する場面もありました。また、暑い国で着る民芸品に興味をもつ方も多く民芸品コーナーも大盛況で、予想以上に売れていました。

●われわれのブースに来られたお客様の集計

1 日目のクイズ参加者 154 名

2 日目のクイズ参加者 180 名

計 334 名の方々にクイズをチャレンジして頂きました。

クイズ参加者、その他 JICA ブースに来て頂いた方はおよそ 500 名以上でした。協力隊員 OB から提供された民芸品は大変好評で飛ぶように売れておりました。特にラクダの太ももの水入れに興味を持つが多かったです。

相馬 OB のお知り合いのイタリア人の方の切絵コーナーも大好評でした。ありがとうございました。ヨーヨー釣りコーナーも毎年子どもたちに人気で、今年も大盛況でした。来年度もこのフェスタに参加します。たくさんお方の来場をお待ちしています。

絶好の天気でした

個別相談も！

ヨーヨーはいつも大人気でした

JICA ボランティア　平成 23 年度 1 次隊が出発！！

６月１５日、ＪＩＣＡボランティア参加する５名が赴任に先立ち、青森県庁を表敬し、蝦名副知事に決意を語りました。

副知事からは「健康に留意して様々な文化経験をし、青森県の次世代へもその経験を伝えて下さい。」と激励の言葉をいただきました。

2013 年までの２年間が活動期間となります。９月末、それぞれの国に到着し、すでに活動を開始しています。健康に留意し、実りある活動となることを願っています。

【青年海外協力隊】

伊藤真弓さん（ガーナ・行政サービス）　（八戸市出身）

留目真希さん（ホンジュラス・小学校教諭）（南部町出身）

長谷川里子さん（キルギス・日本語教師）（つがる市出身）

【日系青年ボランティア】

櫻井光彦さん（ブラジル・日本語教育）　（弘前市出身）

山口明美さん(ブラジル・日系日本語教師）（十和田市出身）

五所川原立佞武多に4年連続参加

８月7日（日）に今年も参加しました。帰国間もない相馬OBを中心として、弘前からの参加もあり、約 20 名が参加しました。絶好の天気に恵まれ、一段と暑かった夏の夜を練り歩きました。立佞武多の大きさと重さを実感できました。今回は、できたての半纏を着て、AOCAの活動紹介ティッシュを配りました。

人数は多くなかったですが、地元の方々と一緒に参加でき、貴重な経験となりました。また、祭り案内放送でAOCAの紹介をしていただき、感謝です来年度以降も参加できるようがんばっていきたいと考えています。

ここでも作りたてのＡＯＣＡの半纏を着ました。やはり祭りには、半纏が合います！

「がんばっています」「帰ってきました」通信

ホンジュラス通信①をお届けします

¡Hola! お久しぶりです。ホンジュラスに来て、１か月が経ちました。皆様、いかがお過ごしですか？すっかりホンジュラス生活にも慣れ、毎日たくさんの発見がある日々です。あと１週間で、語学訓練も終了し、８月４日からとうとう任地のLa paz 県に赴任しました。治安状況を聞いたら、誰もこの国に来たくなくなるのでは…と思うほど治安は悪いです。（麻薬組織の影響が大きい）また、狂犬病（致死率100%の恐ろしい病気）やデング熱、マラリアといった病気もあります。

しかし、マヤのコパン遺跡やマリンスポーツが楽しめるロアタン島といったすばらしい観光名所もあります。また、ホンジュラス人は中米諸国のなかでは穏やかな国民だと言われているように、とてもいい人たちが多いです。食べ物もおいしいです！１か月実際に生活してみて、ホンジュラスの魅力をたくさん知りました。そこで、ホンジュラスの文化や生活について紹介したいと思い、ホンジュラス通信を作ることにしました。時間のある時に読んでいただければ幸いです^^

「ホンジャマカ」「ホンジャラス」なかには「トイザラス」と間違えられることが多く、覚えにくい国名ですが「ホンジュラス」のことをたくさん知ってもらえるチャンスになればと思います。２年という長いようで短い期間、ホンジュラスの人たちと共にがんばりたいと思います^^

（２３－１ホンジュラス　小学校教諭　留目真希）

Comidas（コミダ）

じゃがいもとトルティーヤばかりかしら…と思っていましたが、ホンジュラスは食べ物が大変おいしいです！確かにトルティーヤは毎日食べますが、想像以上にバラエティー豊かで、食文化は割と発達していると思われます。（油っこいもの、甘すぎるものも多いですが…）ホンジュラスで食べられているものを少しずつ紹介していきたいと思います。今回は、まずプラタノ（plátano）を紹介します。バナナより1 まわり大きい、甘くないタイプのバナナです。これは、生では食べず調理してから食べます。一般的には、薄くスライスして油で揚げて食べます。フライドポテトのバナナバージョンといったところでしょうか？いろいろな料理の付け合せとして出てきます。露店でも売っているホンジュラスの大衆食の一つです。また、スープに豆やジュカ（いもの一種）と一緒に入っていたりします。私が一番好きなのは、長いままじっくり焼く食べ方です。甘くておいしいです。＿

たのしいスペイン語

実は、身近なところにあるスペイン語。カラムーチョというお菓子のムーチョ（mucho）はスペイン語で「とても」という意味です。ウンポコ（un poco）は「ちょっと」という意味。私は衝撃を受けたのですが、モコ（moco）はスペイン語で「鼻水」です。日産の軽のmocoと関係があるかどうかは分かりません(+_+)英語と似ているようで似ていない…動詞の活用がとにかくたくさんある…巻き舌ができないと正しい発音ができない…というように難しいところもあります。しかし、基本的にはローマ字読みすればいいので、日本人には馴染みやすい言語なのではないでしょうか？

今回は、「Hola」（オラ）を紹介します。これは、便利な挨拶の言葉で、１日中いつでも使えます。「やあ」とか「こんにちは」という意味です。町ですれ違うたびに「オラ、オラ」と挨拶しています。今、生活している天使の谷
という名のバジェ・デ・アンヘレスという町では、みんなにこっとして「オラ(^^)」とあいさつしてくれます。オラの代わりに「アディオス（さよなら）」「ブエノス・ディアス（おはよう）」「ブエナス・タルデス（こんにちは）」もよく聞きます。

バジェ・デ・アンヘレスの中心部にある公園。とてもきれい！

右下が、揚げプラタノ。本当に甘いのです。すっかりお気に入りです。

通学路。でこぼこ道。野良犬も野良馬もいる。雨が降るとぐっちょぐになります。

「中東の民主化運動により任期満了」

ＡＯＣＡの皆さま、21 年度２次隊　シリア　幼児教育　小笠原　直子です。ご存じの方も多いかと思いますが、私の派遣先であったシリアでは、中東の民主化運動の流れにのり、現在もシリア国内で政府と反政府の争いが続いています。その影響により隊員、ＪＩＣＡ職員一同も一時帰国となり、４月末より日本にて退避していました。いつ戻れるかずっと日本で待っていましたが、この度シリアに戻ることができないまま任期満了となりました。今はシリアの情勢回復と、隊員の再派遣が復活を願うばかりです。日本で待機している間、何かシリアの為にできることはないか、とシリア幼児教育隊員や隊員ＯＧと話し合いを行い、シリア幼児教育の写真展を行うことになりました。この写真展を通して、シリアへの興味関心、幼児教育協力への必要性、重要性を発信していきたいと思っています。最後になりますが、皆さまが様々な活動を行っていることをメールにて拝見していました。私も何かできることがあれば参加していきたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

ほかにも、隊員の中には、自分でブログをやったり、ＨＰを立ち上げたりしています。タイにシニア隊員として派遣されている安田さんのＨＰは、http://miyo-miyo.at.webry.info/です。ぜひ一度ご覧下さい。

「ウインターキャンプ in 青森 for ふくしま kids」を開催

実行委員長　大賀　重樹　　事務局長　對馬　均

【開催主旨】

平成２３年３月１１日に東日本を襲った大震災から、はや半年が過ぎました。被災地ではふるさとを取りもどす懸命な努力が続けられています。各方面からの救援の手も届けられ、我々、青年海外協力隊員経験者で組織する各県のＯＢ会や全国組織であるＪＯＣＡ（青年海外協力協会）も震災直後からボランティア活動を始めました。開発途上国でのボランティア経験を活かしました。現在も宮城県の岩沼や岩手県の遠野に拠点を置き、避難所の管理や物資の仕分け、医療支援などといった活動を続けてきました。

そんな中、福島県会津若松市では、震災等の影響により、自宅を離れての慣れない土地での生活をしながら、がんばっている子供たちがたくさんいます。そこで、今回、雪国青森に子どもたちを招待し、子どもたちが思い切り雪と遊び、楽しんでもらえるようウインターキャンプ IN 青森を企画するものであります。

【開催概要】

１．期　日：２０１２年1月４日（水）～７日（土）

２．日　程：

（４日）会津若松・・福島こむこむ【プラネタリウム体験】・・・飯坂温泉

（５日）飯坂温泉＝＝福島＝＝＝新青森・・・モヤヒルズ・・青森県青年館

（６日）青森県青年館・・・・モヤヒルズ【スキー】・・・・青森県青年館

（７日）青森県青年館・・・・市内観光・・・・新青森＝＝＝＝＝会津若松

（三内丸山遺跡・ワラッセ）

３．宿泊先：飯坂温泉(ホテル伊勢屋)・青森県青年館

４．参加者：被災地から福島県会津若松市内へ避難・転校した小学４～６年生　３５名

５．参加費：無料

６．主　催：青森県青年海外協力協会（ＡＯＣＡ）

　　共　催：ふくしま青年海外協力隊の会・(社) 青年海外協力協会

【寄付のお願い】

今回の企画は、招待キャンプのため参加費無料としています。そのため、ＡＯＣＡが主体となって経費を負担しますが、各方面からの寄付を募っております。個人寄付は、一口２０００円、企業寄付は、一口１００００円としております。下記口座に振り込んでいただくか、ご連絡を下されば、受け取りに伺います。

【連絡先】ウインターキャンプ実行委員会事務局長　對馬均（６－３　コートジボアール　養鶏）

電話＆ＦＡＸ　0174－27－3118　　Mail:jzk03615@nifty.com

ウインターキャンプ実行委員長　大賀重樹（５－１　ホンジュラス　小学校教諭）

電話 090－8605－5751　　Mail:momotarooga@ybb.ne.jp

【口座】みちのく銀行　小浜支店　　口座番号：２６１４９５０

口座名：「ウインターキャンプ事務局　對馬　均」

ご理解とご支援をよろしくお願い致します。

協力隊ナビを毎月実施

今まで、春と秋にJICAボランティア募集説明会を行ってきましたが、10 月からは、一年を通して、毎月説明会を実施します。気軽にお立ち寄り下さい。

お待ちしています

日時:11 月 4 日, 12 月 2 日
16:00～18:00
場所:青森市水産ビル 5 階ラウンジ

問い合わせ先：JICA 青森デスク
TEL：017-735-2249
Mail:jicadpd-desk-aomoriken@jica.go.jp

来年もやりますので、いつでもおいで下さい。

学校で人気の出前講座

年間を通して、小学校から市民講座など、協力隊に参加したＯＢＯＧから話を聞きたいという要望があります。

9 月 29 日に開催された青森県小学校社会科研究大会では、弘前市の先生の実践報告の中で、對馬千佳子ＯＧの出前講座が紹介されました。

「実際に参加した人が教室に来て話をしてくれ子どもたちは熱心に勉強できた。」「写真や実物をもってきて話をしてくれとてもわかりやすかった。」「費用もなく来て頂き、大変ありがたかった。」

等の報告がありました。

出前講座の申し込みもお待ちしています。（017－735－2249 まで）

今月以降の主な予定と情報

10 月 15 日(土)	ＪＩＣＡボランティア募集説明会　（青森市水産ビル　14:00）
10 月 22 日(土)	帰国報告会＆ＪＩＣＡボランティア募集説明会　（八戸市スポーツ研修センター　14:00　）
11 月　4 日(土)	協力隊ナビ　（青森市　水産ビル　16：00～18：00）
11 月 26・27 日	「私たちが暮らした国々　国際協力写真展」（青森市　アスパム　10:00～16:00）
11 月 27 日(日)	ＪＩＣＡボランティア留守家族連絡会（青森市　アスパム９階　13:00～）
12 月　3 日(土)	協力隊ナビ　（青森市　水産ビル　16：00～18：00）
12 月 10 日(土)	ＡＯＣＡ忘年会　（八戸市　スマイルホテル　18:30 開会）　詳細は、幹事の三浦隆ＯＢへ
12 月 24 日(土)	ＪＯＣＶ二次試験対策勉強会（青森市　水産ビルにて　13：00）
1 月 4～7 日	ウインターキャンプ　in 青森　（青森市　モヤヒルズほか）
1 月 7 日(土)	派遣隊員への新聞発送及びあまにゅうの発送・協力隊ナビ　（青森市　水産ビル　13：00～18：00）
1 月 28・29 日	ＪＯＣＡ評議員会（東京）